

感染症発生状況

令和7年6月4日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年5月26日（月）～5月30日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 316名 【職員】 5名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 63名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（142名）、咳・鼻水（98名）、下痢・腹痛（23名）、充血（目やに）（8名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（21名）、気管支炎・肺炎（9名）、胃腸炎（5名）

【職員】症状別：熱（2名）、充血（目やに）（2名）

疾病別：なし

**リンゴ病が相変わらず流行しています。
手洗い励行をお願いします。**

【疾病別の発生状況】

伝染性紅斑（リンゴ病） 河北地区で増加しました。都南地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 河北地区、盛南地区で増加しました。玉山地区で減少しました。

胃腸炎 厨川地区、盛南地区で減少しました。

【県の状況（5/19～5/25）】

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例ありました。

侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。

梅毒の報告が1例ありました。

百日咳が72例報告され、今年に入って最多となりました。年齢別では10代が35例と最も多く、家庭内感染とみられる親や兄弟の感染事例も散見されます。かぜ様の症状と激しい咳が特徴です。1歳未満の場合は重症化や死亡のリスクがあるため、接種対象年齢に達した小児に対しワクチンを接種することが望まれます。また、ワクチンの効果が弱まる就学前や11～12歳で追加の任意接種も検討してください。手洗いや咳エチケット等の感染予防対策も忘れずに行いましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）は減少し、定点当たり患者数は1.52人となりました。伝染性紅斑は、小児を中心にみられる感染症です。微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。しかし、周辺の流行時期にはこまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

感染性胃腸炎は増加し、定点当たり患者数は6.48人となりました。ノロウイルスによる集団発生事例が1件ありました。体調管理に気を付け、調理や食事の前、トイレの後は石けんで手洗いをしましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】